

むらやま・木育プログラム 作り方マニュアル

4 お守り(おまもり)



対象： 幼児～

危険度	1	鋸を使う作業は大人の注意が必要 幼児のみの場合は紙やすりのみ使用	90 分
難易度	1	幼児が大人と一緒に取り組む場合は、玄能や手動ドリルは大人が担当する	

◆ 材 料

丸太、木片、塗装用油（アマニ油、えごま油 等）ビーズ、ひも



丸太



食用油
(アマニ油、エゴマ油等)



木片



ひも



ビーズ

◆ 道 具

木工用ノコギリ（横引き、粗目）、丸太切り台^{げんのう}、ドリル（ドリル刃…5.0mm）、
ドリル受木、紙やすり（＃150、240）、油を入れる器、筆、キッチンペーパー



◆ 作り方

① 丸太をカットします。



直径10cm以上の丸太を
子どもがひとりで切るのは
大変です。
交代しながら切るか、大人と
一緒に切ってみましょう。

厚さはお好みですが、
2cmくらいが、割りやすい
でしょう。

② 輪切りを、^{げんのう}玄能で割る。



子どもの力で割れない場合
は大人が割りましょう。
子どもたちは、
興味津々で見えています。

③ ドリルで欠片に穴を開ける。



④ 紙やすり（＃１５０）でかけらの表面を磨く。紙やすりを写真のように３等分に折りたたむ。やすり同士のザラザラで固定され、使いやすくなる。



★幼児だけの作業の場合は、ここから始めます。
用意された木片の中から好きな形を選びます。

「友だちが沢山できますように」、「〇〇が上手になれますように…」
など、願いを込めて紙やすりで丁寧に磨いていきます。

- ⑤ 表面の凹凸がなくなったら、＃240のやすりで仕上げます。



願いが叶いますように。。

- ⑥ キッチンペーパーにオイルを染みこませて木片に塗りこみます。



- ⑦ 色の濃淡がはっきりし、表面は光り、きれいな年輪が見えるようになります。



- ⑧ ひもとビーズを通せば完成です。



完 成！



③④⑤

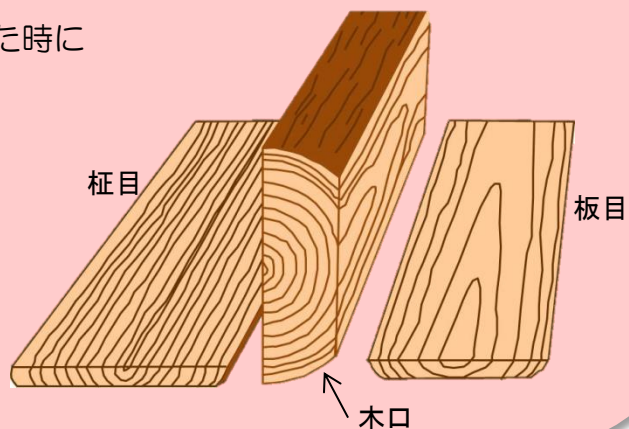
『木のお菓子』バウムクーヘンで学ぼう！

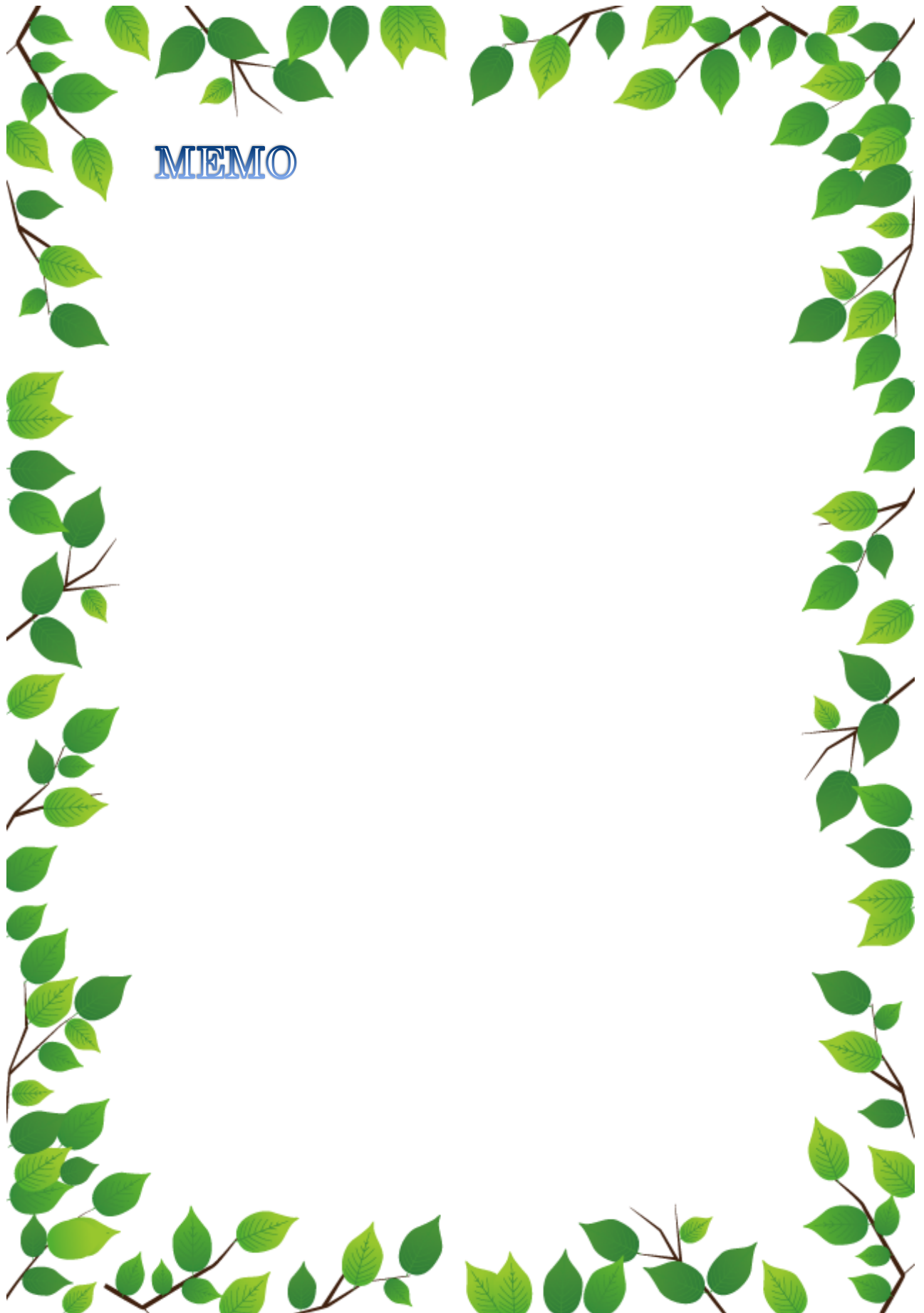
バウムクーヘンとは、ドイツ語で[木のお菓子]という意味です。その名の通り、まるで木の丸太のような形をしています。生地を焼き上げながら年輪を重ねていく様子も、木が成長する様子とそっくりです。



カットの仕方で、木目の種類（^{まさめ} 柱目、^{いため} 板目、^{こぐち} 木口）を覚えてみましょう。

- ① 木の中心から放射方向にナイフを入れた時に
出るのが、柱目(まさめ)
- ② 木の中心を通らずにナイフを入れると
板目(いため)
- ③ バウムクーヘンをそのまま真上から
みるのが、木口(こぐち)







【編集・発行】 令和7年12月

山形県村山総合支庁産業経済部 森林整備課森づくり推進室
〒990-2492

山形県山形市鉄砲町二丁目 19 番 68 号

【問合せ先】

森づくり担当：TEL 023-621-8156・8248

やまがた緑環境憲章

— 県民みんなで支える新たな森づくり —

私たちは、

- 1 暮らしや環境を守るため、豊かな森づくりを進めます。
- 2 森や木の文化を見つめ直し、暮らしの中に木を活かします。
- 3 一人一人の力を活かし、森づくりの和を広げます。
- 4 森や自然の大切さを学び、やまがた森林と緑の推進機構の^{きすな}絆を深めます。
- 5 みんなで森づくりを支え、かけがえのない森を未来に贈ります。



「やまがた緑環境税」を活用しています